

建設 DX ビジョンを策定しました！ ～持続可能な社会に向けて“シンカ”する！～

鉄道・運輸機構（JRTT）は、設立 20 年を契機とし、鉄道建設における工事の自動化やサイバー空間を活用してどこでも効率的に勤務を可能にするなど、今後 20 年～30 年後に達成を目指す DX の目標として、このたび建設 DX ビジョンを策定しました。

鉄道・運輸機構（以下、「JRTT」）は、2003 年 10 月 1 日に設立して以来、「明日を担う交通ネットワークづくりに貢献」することを基本理念とし、最新技術の導入に積極的に取り組んで参りました。

今般、鉄道建設における DX 等の技術開発を計画的に進めるため、JRTT が 20 年～30 年後に達成を目指すべき目標を取りまとめた「建設 DX ビジョン」を策定しました。今後、ビジョンの具現化に向けた取組みとして、各施策のロードマップを作成し、多様な事業主体や施策の実現に係る各種計画とも連携しながら、検討を深度化させてまいります。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

【建設 DX ビジョンホームページ】 <https://www.jrtt.go.jp/construction/technology/dx.html>

<本件に関するお問合せ先>

建設企画部 技術企画・安全推進課

TEL 045-222-9063



～JRTT は設立 20 周年を迎えました～

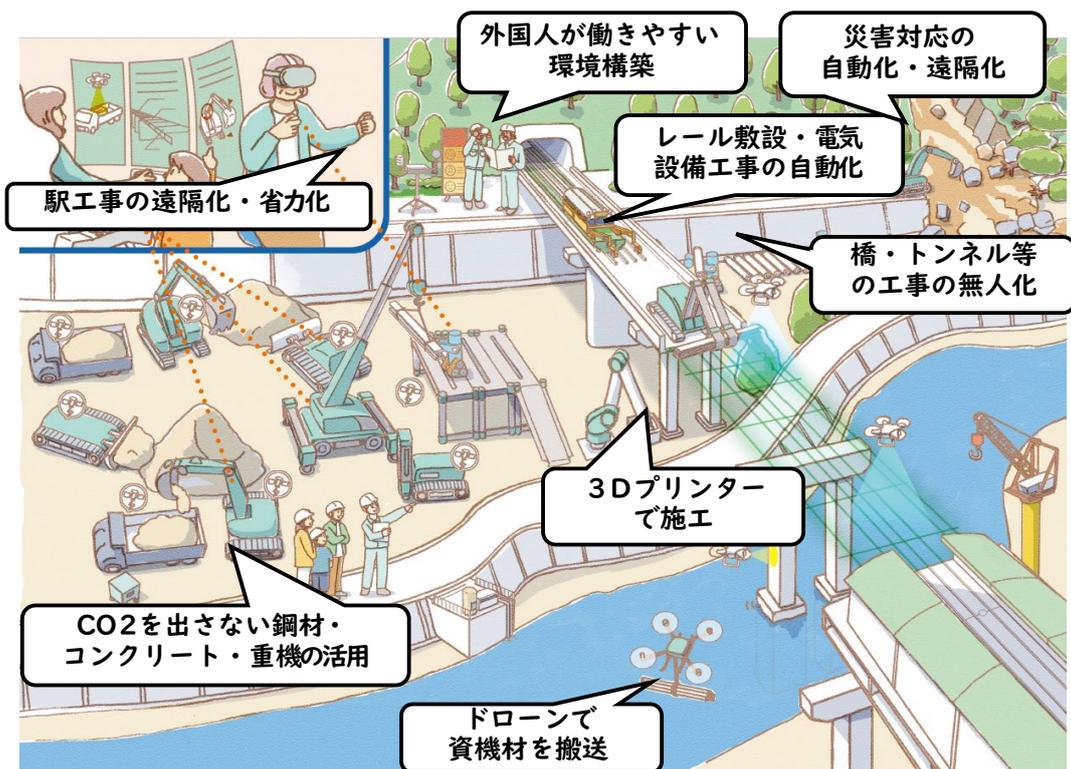


図 建設現場の“シンカ”※

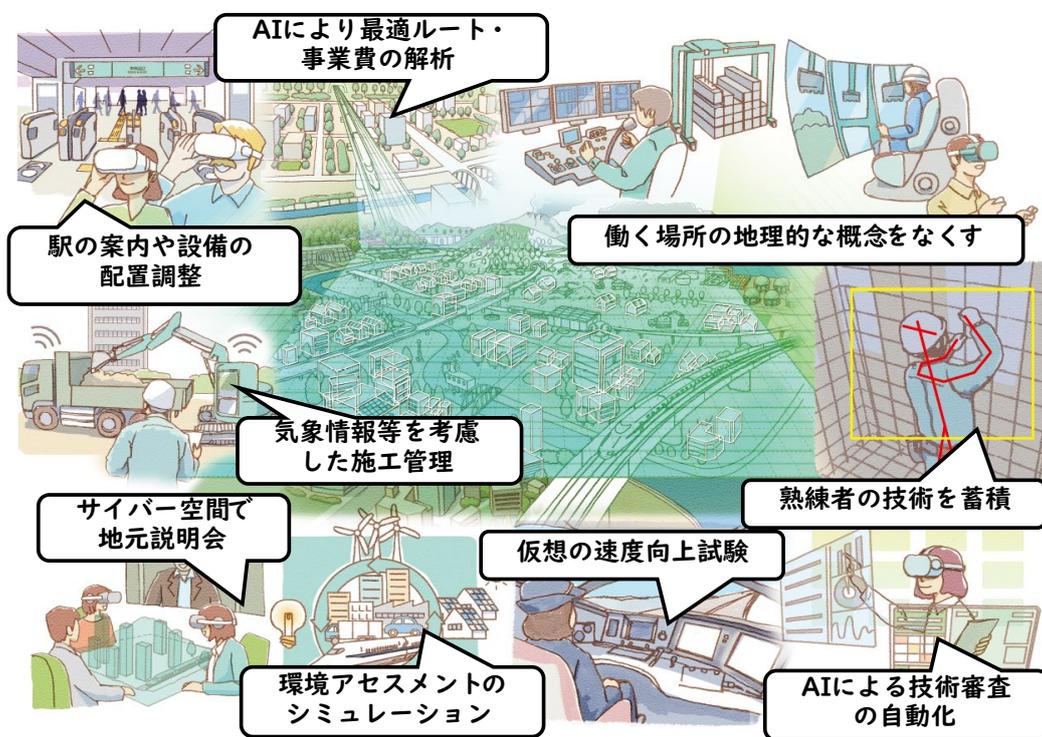


図 オフィスの“シンカ”※

※当該イラストは、第5期国土交通省技術基本計画で示された「将来の社会イメージ」を参考に、JRTTの建設DXビジョンとして作成したものです。